

## 黄金のメジナ現る

平成 28 年 6 月 13 日の朝、下田魚市場で ” この黄色い魚は何だ？ ” と声をかけられました。形はメジナに似ていますが、普段目にする暗い青色とは似ても似つかない色で、体表に小さな黒い点が散在し赤く充血しているような部分もあります。その場で判別できないので、分場に持ち帰り調べてみました。

この魚の全長は 360mm、体重は 814g で、鰭条数は背鰭棘条 15、軟条 13、尻鰭棘条 3、軟条 12 でした。鰭条数はメジナと合っていますが、下田魚市場ではクロメジナも目にする事が多く、鰭条数はメジナと重複することもあるようです。尾鰭の形はメジナに近いのですが、クロメジナにも尾鰭の切れ込みが浅いものがあり、判断できません。また、外見が似た魚として伊豆諸島のミナミイズズミには体色が黄色い個体がいるという情報もあります。さて、この魚はメジナ、クロメジナ、ミナミイズズミのどれなのでしょう？

釣り上げた「ふさ丸」さんに話を伺ったところ、この魚は平成 28 年 6 月 12 日の 17 時頃に下田市田牛沖の水深約 20m で釣ったもので、釣り上げた時は引きが強かったので、尾長（クロメジナ）かと思ったが、形をみるとクチブト（メジナ）で、釣った直後は金色をしていたとのことでした。また、釣り上げる時フンをしなかったのでイズズミではない。と明快な答えが返ってきました。この魚はメジナの黄色個体で間違いのないようです。



(写真) メジナの黄化個体 (平成 28 年 6 月 12 日下田市沖採集)

(高木康次)